

大津市議会が龍谷大学図書館と連携

～全国初！ 議会の政策立案機能向上のために～

この度、2016年4月から、大津市議会の更なる政策立案機能向上を目的とし、龍谷大学図書館の学術情報資料及びレファレンス機能を大津市議会議員と議会局が利用することについて合意に至りましたのでお知らせします。また、今後、龍谷大学図書館には、大津市議会図書室の整備充実にかかる支援をいただく予定です。

地方議会で議会図書室の機能強化のために、大学図書館と連携するのは、全国初となります。

大津市議会は、龍谷大学とは2011年にパートナーシップ協定を締結し、政策課題についての意見交換や専門的見地から助言を行っていただくなど、政策課題への適切な対処と地域の発展に資することを目的に連携を進めています。これまでも、パートナーシップ協定に基づき講師を派遣いただき、議員の質問力向上や政策形成能力の向上のための研修を行ってまいりました。

地方自治法上、議会に図書室を置くことが定められており、執行部の監視機能や議会自らが政策立案を行う機能をサポートする知的基盤としての役割が求められています。しかし、政令市等大規模な一部自治体を除き、議会図書室の図書充実や司書等の配置は財政上困難なことから、本来の機能を果たしていないのが全国的な実情です。本市議会においては独自手法でこの課題に対応しようとするもので、この連携により政策立案機能の向上、議会図書室の整備充実の促進を図っていきます。

記

- 1 利用対象 **大津市議会議員（38名）および議会局**

- 2 対象図書館 **龍谷大学 深草図書館、大宮図書館、瀬田図書館**

- 3 連携事項
 (1) 龍谷大学図書館所蔵図書資料等の利用
 (2) 議会図書室の整備充実にかかる相談・協力

- 4 連携開始
 2016年4月1日